

## 水質を調査 川きれいに

刈谷の角文 児童向けに環境学習



川の中で環境調査をする児童たち＝刈谷市の逢妻川で

刈谷市泉田町の建設業「角文」による環境学習が、同社近くの逢妻川であり、富士松南小学校の四年生約百二十人が川の中で環境調査をした。

子どもたちは透視度計を用いて水の透明度を調べ、水質の指標となる化学的酸素要求量(COD)や水素イオン濃度(pH)を簡易キットで測った。靴のまま川に入り、タモを用いて草の陰や石の下などを探ると、ギンブナやヨシノボリ、特定外来生物カヤシなどが見つかった。

調査とともに川の中でゴミ拾いをする、缶やスリッパ、タイヤなど大量のゴミが集まった。

岡田兜真君(かぶ)は「ゴミがいっぱい驚いた。もつと川をきれいになりたい」と語った。指導した角文の神谷幸彦さん(かぶ)は「大人になるまでの間に、自然に対する感性を磨いてほしい」と話した。

(土屋晴康)